

平成 29 年度 N P O 等による復興支援事業
いわて震災詩歌 2018 短歌募集
応募締切 平成 29 年 11 月 30 日 (消印有効)

◆応募先・問合せ◆
いわてアートサポートセンター
肴町事務所内
「いわて震災詩歌 2018」係
TEL. 019-604-9020
kaze@iwate-arts.jp



詳細は上記 QR コード
からご覧いただけます。



いわてアートサポートセンター

風のスタジオ イベント情報

土曜夜麻痺「飛散するハニー」

脚本・演出 古屋 仁成
キャスト 角館 信哉 (劇団ちゃねる)、
遠藤 麻由、嵯峨 瞳 (片目で立体視)

日時 11 月 18 日 (土) 14:00~ / 19:00~
11 月 19 日 (日) 11:00~

※開場は開演の 30 分前 ※上演時間は 90 分を予定
※小学生以下入場不可 ※喫煙シーン有

会場 いわてアートサポートセンター風のスタジオ
料金 前売 1,500 円 当日 1,800 円
※全席自由

問合せ TEL 090-1939-7013 (制作)
MAIL yoru_mahi@yahoo.co.jp

岩手大学劇団かっぱ 2017 年冬期公演 「レイニーレッドにさようなら」

作・演出 齊藤瑞樹

日時 11 月 25 日 (土) 14:00 ~ / 18:00 ~
11 月 26 日 (日) 10:30 ~ / 15:00 ~

※開場は開演の 30 分前

会場 いわてアートサポートセンター 風のスタジオ
料金 前売 (一般) 800 円 前売 (岩大生) 700 円
当日 1000 円 高校生以下 500 円

問合せ TEL 090-6222-3440 (制作部)
MAIL kappa_iwatedai@yahoo.co.jp

鉈屋町界隈イベント情報

盛岡まち並み塾イベント

新そばの会

初登場そば打人 【滝沢手打ちそば道場】

2017 年 11 月 11 日 (土) 11:00 より
大慈清水御休み処 (盛岡市鉈屋町 3-15)

会費 600 円 (手打ち新そばもり 1 枚) ★数量限定

主催: 特定非営利活動法人盛岡まち並み塾
問合せ: TEL.019-622-8989 machiya@theia.ocn.jp



発行者 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

【本部】

〒020-0874 盛岡市南大通 1 丁目 15-7 南大通ビル 3 階
TEL (019)656-8145 FAX (019)656-8146
E-mail info@iwate-arts.jp URL http://iwate-arts.jp

【肴町事務所・風のスタジオ】

〒020-0878 盛岡市肴町 4-20 永卯ビル 3 階
TEL (019)604-9020 FAX (019)604-9021
E-mail kaze@iwate-arts.jp URL http://iwate-arts.jp
〈窓口営業時間〉火・水・金 10:00~18:30 木・土 10:00~17:00
〈施設利用可能時間〉9:30~21:30

【もりおか町家物語館】

〒020-0827 岩手県盛岡市鉈屋町 10-8
TEL (019)654-2911 FAX (019)654-2913
E-mail machiya@iwate-arts.jp URL http://machiya.iwate-arts.jp
〈開館時間〉9:00~19:00 (最終入館 18:30) ※浜藤ホールのみ利用時は 21:30 まで
〈休館日〉毎月第 4 火曜 (休日の場合はその翌日) - 年末年始 12/29 ~ 1/3
〈入館料〉無料 ※一部企画展は有料の場合があります。

◎プレイガイドをご利用下さい!

肴町事務所・風のスタジオ窓口と、もりおか町家物語館案内所には、プレイガイドを設置しております。販売手数料 5% (消費税込み) で、イベントチケットをお預かりしています。直接ご来館のうえ、職員にお声がけください。



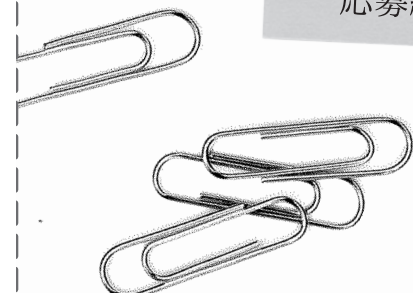
もりおか町家・風の通信 11 月号

したまち小劇場祭
参加団体 募集中!

森荘巳池劇場 第 4 回公演
映画「蛾と笹舟」
11 月 18・19 日開催

ビデオ上映「高橋克彦版 四谷怪談」
12 月 10 日に開催決定!!
★11 月 6 日チケット発売

平成 29 年度 N P O 等による復興支援事業
いわて震災詩歌 2018 短歌募集
応募締切 11 月 30 日 (消印有効)





もりおか町家物語館

第70回岩手芸術祭演劇部門「映像と演劇のコラボによる映画」上映
劇団赤い風第78回公演

もりおか町家物語館 森荘巳池劇場第4回公演

映画「蛾と笹舟」

原作：森荘巳池 脚本・監督：坂田裕一

～「物語る」演劇から「読むように観る」映画～
岩手在住作家初の直木賞受賞作家 森荘巳池作品 初の映画化

〈映像と語りのコラボレート〉
語り（生出演）：江幡平三郎（IBC 岩手放送アナウンサー）

〈映画出演〉おきあんど、大森健一、東海林千秋、
菊池与志和、村山恵美、佐々木花、大谷ちひろ、他

日時 11月18日（土）14：00～／18：00～
11月19日（日）14：00～

※開場は開演の30分前／上映時間約70分

会場 もりおか町家物語館 浜藤ホール

入場料 〈前売〉一般1,500円、シニア・学生1,200円
※当日券は各300円増／全席自由

主催 岩手県、岩手県文化振興事業団、
岩手県芸術文化協会、岩手日報社、
IBC 岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、
岩手朝日テレビ、エフエム岩手、盛岡市、
（特非）いわてアートサポートセンター

盛岡芸妓 お座敷体験講座

日時 11月25日（土）12:00～13:30 【料亭駒龍のお弁当付】

場所 もりおか町家物語館 浜藤ホール（椅子席）

料金 5,400円

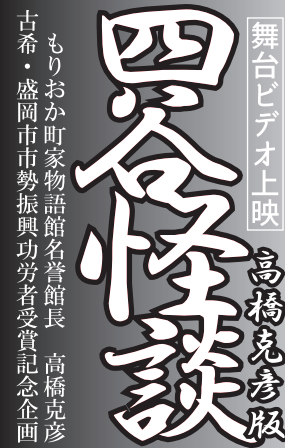
申込み 窓口、電話、FAX、メールのいずれかの方法で、
下記へお願いいたします。（定員30名）

問合せ （公財）盛岡観光コンベンション協会 TEL.019-621-8800

主催 （公財）盛岡観光コンベンション協会、盛岡芸妓後援会、
（特非）いわてアートサポートセンター

◆大正蔵1階「時空の商店街」冬季営業時間のお知らせ

大正蔵1階「時空の商店街」は、11月1日から3月31日まで
冬季営業時間《10：00～17：00》となります。



日時 12月10日（日）11時～／15時～

高橋克彦・村松文代（予定）によるトークあり

※上映＋トーク約3時間（途中休憩あり）

※開場は開演の30分前／全席自由

場所 もりおか町家物語館 浜藤ホール

入場料 前売1,200円／当日1,500円

※11月6日（月）よりチケット発売！

問合せ もりおか町家物語館 TEL.019-654-2911

主催 盛岡市、（特非）いわてアートサポートセンター

したまち小劇祭 2018 参加団体募集！

公演期間 2018年2月12日（月）～2月25日（日）

募集会場 いわてアートサポートセンター風のスタジオ、もりおか町家物語館

ジャンル 音楽、演劇、映画、伝統芸能、その他パフォーミングアーツ

募集団体数 最大3団体

応募方法 もりおか町家物語館ホームページより『したまち小劇場祭参加申
込書』をダウンロードし、必要情報を記入のうえ、もりおか町家
物語館したまち小劇場祭事務局までお申込ください。

応募締切 11月15日（水）必着

問合せ もりおか町家物語館 TEL.019-654-2911

南部たこ絵教室 ～作ってあげよう～

伝統の南部たこ絵に色を塗り、自分だけの凧を作ろう！

南部たこ絵の製作活動を行っている「ねじばなの会」の協力のもと、南部たこ絵
教室を行います。3回の教室で絵に色を塗り凧を製作。完成した凧は、もりおか
町家物語館で展示。お正月にはみんなで凧揚げを楽しみましょう。

1回目	2017年 11/25 (土) 13:30～15:30	完成した凧の展示 12/11 (月)～12/28 (木) ※12月26日(火)は休館	
2回目	2017年 12/ 2 (土) 13:30～15:30		
3回目	2017年 12/ 9 (土) 13:30～15:30		
		凧揚げ	2018年 1/6 (土) 13:30～

【対象】小学生 【募集人数】20名 【参加費】教室3回1,000円（材料費込み）
【申込方法】電話またはFAX、メールにてもりおか町家物語館まで以下をお知らせください。
★お名前 ★年齢 ★ご連絡先電話番号 ※先着順／定員になり次第〆切

主催：盛岡市、（特非）いわてアートサポートセンター 共催：ねじばなの会

カフェ DOMA

営業 11:00～16:00 定休 毎週火・水曜日

※営業時間外も、施設開館中は見学可能です。
※臨時休業の場合もございます。営業時間はホームページ等でご確認ください。

リレーコラム No.19

映画「蛾と笹舟」

盛岡の劇団赤い風が20年にわたって舞台化している岩手県初の直木賞受賞作、森荘巳池の「蛾と笹舟」を映画化したいと相談をされて、原作と舞台の脚本を読ませて頂いた時の第一印象は「映像化が非常に難しい作品だな」というものでした。

時代は戦時中の昭和18年あたり、基本的に夕げの家族団欒の中で語られるお話で、自ずとちやぶ台を囲んで話をしているビジュアルが多くなります。舞台では生の演技の迫力で観客を引っ張っていけるかもしれないが、映像となって客観性が出てきた場合、映画として成立するのはなかなか難しいのではないかと思います。

そこで無声映画の弁士のような生のナレーションと生演奏を入れ、映画と舞台が融合した作品にしようという提案。映像も実写だけで無くアニメーションも入れてはどうか、と次第に作品の形ができていきました。

俳優陣は劇団赤い風、そしてなにより今回特筆すべきは撮影、照明、録音などの制作スタッフが全員市民公募だということです。最終した20人近くのスタッフは大学生、サラリーマン、主婦など20代から60代までと多彩な陣容です。

7月クランクイン。映画作り経験者は私だけ、扱うのはプロ機材、本当にできるのだろうかと思半信半疑のスタートでした。連休やお盆休みにももり盛岡鉦屋町で行われた撮影は、やってみたらエピソード満載で順調に進み、スタッフに至っては機材の準備、セッティングなど率先して行うまでになりました。

9月半ば、無事故でクランクアップ。アニメーションは岩手大学の本村健太先生が、ナレーションはIBCアナウンサーの江幡平三郎氏が引き受けてくれました。編集も進み、10月末からはナレーションと生演奏のリハーサルが始まっています。

11/18・19、岩手の舞台俳優と一般市民スタッフが共に駆け抜けた夏の成果が「映画」になっていよいよお披露目となります。

どうか多くの方に観ていただき、忌憚のないご批評をいただきたいと思っています。

「蛾と笹舟」撮影監督 千葉真一